

## ニカラグア定期報告（2021年7月）

### 【要旨】

内政・外交面では、先月同様、11月の大統領選挙を前に、野党大統領候補者とされたメダルド・マイレナ氏を含む反政府関係者が逮捕された。米国は、ニカラグア国会・司法関係者等100人への査証制限措置を行い、カナダは新たに15人のニカラグア政府関係者を制裁対象とした。一方、ロシアは、欧米各国に対してニカラグアへの内政干渉であると批判をした。経済面では、英シンクタンクが2021年のニカラグア経済成長率を4.8%とし、世界銀行は、2020年ビジネス環境ランキングのなかで、ニカラグアを100点中54.4点（190か国中142位）と評価した。

### 【主な出来事】

#### 1 内政

##### （1）「人間開発のための貧困対策国家計画 2022-2026」の公表

1日、イバン・アコスタ財務公債大臣はニカラグア国立大学（UNAN）マナグア校にて、「人間開発のための貧困対策国家計画 2022-2026」を発表した。

##### （2）6人目の野党大統領候補を含む複数の反政府派の逮捕

5日夜、メダルド・マイレナ氏（農民連合リーダー、野党大統領候補）、ペドロ・メナ氏、フレディ・ナバス氏、パブロ・モラレス氏、そして2018年の反政府デモで頭角を現した学生リーダーとして有名なレステル・アレマン氏及びマックス・ヘレス氏といった反政府派が国家警察に逮捕された。国家警察のプレスリリースによれば、逮捕された5名（その後、人権団体が、モラレス氏は解放された旨発表）に関しては、ニカラグアの独立・主権・自己決定権を損ない、内政に外国の介入を慫慂した等として、「平和のための独立・主権・自決の国民権利保護法」に基づいた調査もなされている。

##### （3）サンディニスタ革命42周年記念式典の開催

ア 19日、マナグア湖畔の革命広場にて、42周年目のサンディニスタ革命記念式典が実施された。昨年同様、新型コロナウイルスの影響により、メインテーブルの一部高官を除いては、数百名のサンディニスタ青年部等のみ招集され、一般党员・支持者はテレビの生中継を通じて式典を視聴した。

イ メインテーブルにはオルテガ大統領、ムリージョ副大統領、ブレンダ・ロンチャ最高選挙管理委員会（CSE）委員長、フィデル・モレノ・マナグア市官房長、グスタボ・ポラス国会議長、アルバ・ルス・ラモス最高裁判所長官、セサル・アビレス国軍司令官、フランシスコ・ディアス国家警察長官らが着席し、外国からの来賓は Kove Daur アブハジア

自治共和国「外務大臣」のみであった。オルテガ大統領は、例年どおり国民向けのスピーチを行った。

(4) コスタリカ保健省によるニカラグアからの渡航者のデルタ株感染確認

20日、ダニエル・サラス・コスタリカ保健大臣は、19日にコスタリカ国内で16名のデルタ株の感染者を確認し、そのうち1名はニカラグアからの渡航者であった旨、発表した。

(5) サルバドル・サンチェス・セレン元エルサルバドル大統領へのニカラグア国籍付与

30日、ニカラグア政府は、違法蓄財、横領、マネーロンダリングの犯罪容疑で国際的に手配されているサルバドル・サンチェス・セレン元エルサルバドル大統領にニカラグア国籍を与えた旨発表した。

(6) 新型コロナウイルスワクチン情報

ア 2日、ムリージョ副大統領は、ニカラグアに10万回分のロシア製ワクチン（スプートニクV）が到着した旨、また、16日、ワクチン数は不明なるも、さらにロシア製ワクチン（スプートニクV）が到着した旨、発表した。

イ 30日、COVAX ファシリティを通じたノルウェーによるスイスを介したアストラゼネカ社ワクチン3万6千480回分が到着し、マルタ・レジェス保健大臣及びアナ・ソリス汎米保健機構（PAHO）ニカラグア事務所代表らが受け取った。

(7) 8月6日付市民監視団体の新型コロナウイルスに関する発表概要

ア 7月29日～8月4日の期間に全国で278件の感染及び感染疑いが報告され、累計20,286名となった。

イ 上記の期間にコロナウイルスの感染疑いで死亡した人は50名報告された。累計死者数は3,718名となった。

ウ これまで累計1,166名の医療従事者のCOVID-19感染疑いが報告され、また累計152名の死亡が報告された。

(8) 8月3日付保健省(MINSA)の新型コロナウイルスに関する週間レポート

ア 7月27日から8月3日までの間に、保健省は383名のCOVID-19陽性であると診断されたニカラグア人に対して、責任をもって注意深いフォローアップを行った。また276名がフォローアップ期間を終了した。

イ パンデミックが始まってから今日までの間、保健省は合計7,890名に対し、責任をもって注意深いフォローアップを行った。

ウ COVID-19感染者及びフォローアップ対象者の大多数は、様々な持病を抱えている。最も多いのは糖尿病、肥満、高血圧、心疾患、免疫不全、慢性腎不全、脳卒中の既往歴、肺結核及び慢性肺疾患である。

エ この1週間の間に、COVID-19に起因する1名の死亡が確認された。(累計死者数196名)また肺血栓感染症、糖尿病、急性心筋梗塞、高血圧及び細菌性肺炎によって、複数のフォローアップ対象者が死亡した。

オ 本日まで、7,311名のニカラグア人が回復した。

(9) M&R Consultores 社による世論調査結果

ア 調査方法等

調査期間：2021年6月27日～7月3日

調査対象：全国16歳以上の男女2,000名

調査方法：電子機器を用いた形での訪問面接式

信頼度数：95%

イ 調査結果

(ア) 2021年11月の大統領選挙の重要性

	2020年10月	2021年3月	2021年7月
とても重要である：	84.1%	90.8%	91.9%
重要である：	10.7%	4.6%	4.4%
重要でない：	5.2%	4.6%	3.8%

(イ) 大統領選挙における自身の1票の重要性

	2020年10月	2021年3月	2021年7月
とても重要である：	84.1%	91.3%	88.0%
重要である：	4.6%	4.1%	3.7%

重要でない : 11.3% 4.6% 8.4%

(ウ) 大統領選挙に投票に行くか

	2020年10月	2021年3月	2021年7月
おそらく投票に行く	79.8%	81.3%	73.3%
おそらく投票に行かない	18.8%	15.6%	26.7%

(エ) 大統領の再任について

国民が望み、選挙で得票を得るならば大統領は再任されうる	77.9%
どのような状況下でも再任されるべきでない	19.2%
意見なし	3.0%

(オ) 支持政党

FSLN	55.1%
野党	7.7%
なし	37.3%

野党の内訳:

市民同盟 (Alianza Civica)	0.7%
憲政自由党 (PLC)	2.3%
自由のための市民たち (C×L)	2.9%
青と白の国民連合 (UNAB)	0.3%
独立自由党 (PLI)	0.4%
保守党 (PC)	0.2%
ALN	0.5%
APRE	0.4%
UNAMOS (旧 MRS)	0.1%
その他	0.2%

(カ) 支持政党の推移

	2016年	2018年	2020年	2021年1月	2021年7月
FSLN	57.0%	28.9%	53.2%	51.5%	55.1%
野党	5.7%	5.3%	9.8%	3.3%	7.7%
なし	37.3%	65.8%	37.0%	45.2%	37.3%

(キ) 上記(オ)において「支持政党なし(37.3%)」と答えた人のうち

FSLNに好意的 16.2%

野党に好意的 15.0%

どちらでもない 6.1%

(ク) 大統領選挙において、どちらに投票するか

FSLN 60.2%

野党 13.7%

無回答 26.2%

## 2 外交

(1) ロシアの欧米に対するニカラグアへの内政干渉批判

9日、Maria Zajarova ロシア外務省報道官は、モスクワでの記者会見にて、米国のニカラグアに対する内政干渉を批判した。

(2) 米国によるニカラグア国会・司法関係者等100人への査証制限措置

12日、米国政府はブリンケン米務長官名でのプレスリリースにより、ニカラグアの国会議員と検察官や裁判官を含む司法関係者、その一部家族あわせて100人に対し、査証制限を課すと発表した。なお、この100人の氏名等のリストは発表されていない。

(3) キューバの反政府抗議活動に対するオルテガ大統領・ムリージョ副大統領のメッセージ

12日、キューバにおける大規模な反政府抗議活動の発生をうけ、ニカラグア政府はオルテガ大統領・ムリージョ副大統領の連名で、ディアスカネル・キューバ大統領宛のメッセージを発表した。

(4) カナダによる15人のニカラグア政府関係者制裁

14日、カナダ政府は新たにイバン・アコスタ財務・公債大臣など15人のニカラグア政府関係者を制裁対象とする旨、プレスリリースにて発表した。

(5) 日 SICA 外相会合

16日、グアテマラシティで開催された日・中米統合機構(SICA)外相会合に、オルランド・ソロルサノ勸業・産業・通商大臣、マルタ・レジエス保健大臣、ギジェルモ・ゴンサレス国家防災機構(SINAPRED)長官、ルイス・カニャス内務副大臣、イバン・ララ・パラシオス外務省司法問題担当副大臣らニカラグア代表団がバーチャルで出席した。

(6) モンカダ外相らニカラグア代表団のロシア訪問

19日、モンカダ外相、イバン・アコスタ財務・公債大臣兼ニカラグア・ロシア政府間委員会代表、ラウレアノ・オルテガ投資振興機構顧問、ラファエル・オルテガ大統領代表、アルバ・トーレス駐ロシア・ニカラグア大使らニカラグア代表団は、ロシアを訪問し、ラブロフ・ロシア外相と会談を行った。

(7) ロシアおよび台湾によるニカラグア国軍への支援

ア 22日、ロシアは、ニカラグア国軍に対して、ヘリコプター、防災時の救援車、現場撮影用の映像キットを含む緊急対応キット、サイレン、四輪駆動車などを供与した。

イ 22日、台湾は、ニカラグア海軍向けにビーコン、救命具、救急車を含む車両、救急キット、防護服、通信機器などを供与した。

(8) 東京オリンピック参加

23日から開幕された東京オリンピックに、ニカラグアは、陸上、水泳、柔道などの競技に総勢17名の代表団を派遣した。

(9) コロンビアによる駐ニカラグア大使の召還

28日、コロンビア政府は、ニカラグアによる反政府派指導者の逮捕等を受けて、駐ニカラグア大使を召還することを発表した。

(10) モンカダ外相のペルー大統領就任式出席

28日、モンカダ外相及びマリサ・デルソコロ・エスピナレス国会第一副議長は、ペルー独立宣言200周年記念式典及びペドロ・カスティージョ・テロネス新大統領就任式に出席した。

### 3 経済

(1) ニカラグア中央銀行による本年第1四半期までの債務状況報告書

ア 9日、ニカラグア中央銀行は、本年第1四半期までの債務状況に関する報告書を発表した。

イ 2021年第1四半期時点の公的債務残高は、約84.79億米ドルであり、のうち82.6% (約70億米ドル) が対外公的債務である。残り17.4% (約14.79億米ドル) は、国内債務である。2020年 (約81.78億米ドル) と比較すると、対外債務が0.43億米ドル、国内債務が2.57億米ドル増加したことで、計3億ドル公的債務が増加した。

(2) EIUによる2021年ニカラグア経済成長率予測

The Economist Intelligence Unit(EIU) (英国定期発行物「エコノミスト」の調査部門) は、ニカラグアの2021年経済成長率を4.8%になると予測した。

(3) 世界銀行による2020年ビジネス環境ランキング

ア 世界銀行は、2020年ビジネス環境ランキングを発表し、ニカラグアは100点中54.4点(190か国中142位)であった。ラテンアメリカにおいては、ベネズエラ、ボリビアに次いで下から3番目である。

イ ニカラグアに対するビジネス環境評価の詳細

	評価(100点満点)	順位(190か国中)
事業設立	79.6点	145位
建設許可	46.3点	176位
電力事情	68.3点	115位
不動産登記	46.4点	160位
金融アクセス	50.0点	104位
少数投資家保護	24.0点	170位
納税	52.7点	162位
貿易	77.0点	84位
契約執行	58.6点	87位
破綻処理	41.1点	107位
合計	54.4点	142位

(4) 米務省による2021年ニカラグア投資環境ステートメント

21日、米務省は、2021年ニカラグア投資環境ステートメントを発表した。

(5) BCIEによるコリント港改善プロジェクト追加支援

29日、ニカラグア国会は、中米経済統合銀行(BCIE)によるコリント港の近代化、拡張、設備導入を目的とした21.4百万米ドルの追加融資契約を承認した。既に、2018年に、BCIEによる同プロジェクトの163.2百万米ドルの融資契約をしており、今回の承認により計184.6百万米ドルの資金を得た。

<主要経済指標>

	2019年	2020年	2021年		
			5月	6月	7月
インフレ率（対前年同月）	6.1%	2.9%	1.51%	2.24%	2.60%
貿易収支（百万ドル）	▲1,655.6	▲1,559.9	▲170.4	未発表	未発表
輸出 FOB（百万ドル）	2,696.8	2,852.0	313.4	未発表	未発表
輸入 FOB（百万ドル）	4,352.4	4,411.9	483.8	未発表	未発表
海外送金受取額（百万ドル）	1,682.4	1,851.4	187.1	171.9	未発表
外貨準備高（百万ドル/期末）	2,397.4	3,211.9	3,623.9	3,611.8	未発表

（出典：ニカラグア中央銀行、インフレ率のみ開発情報庁（INIDE））

（了）